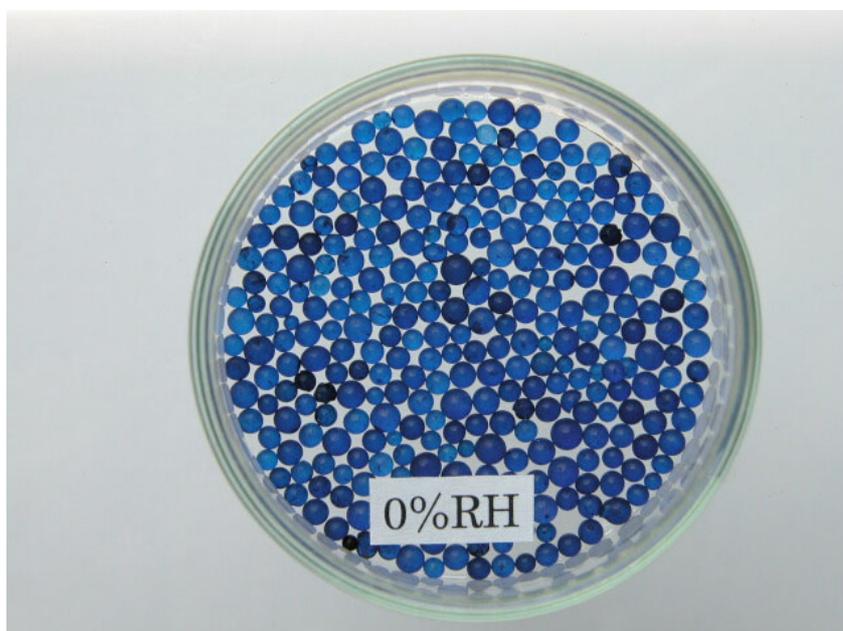


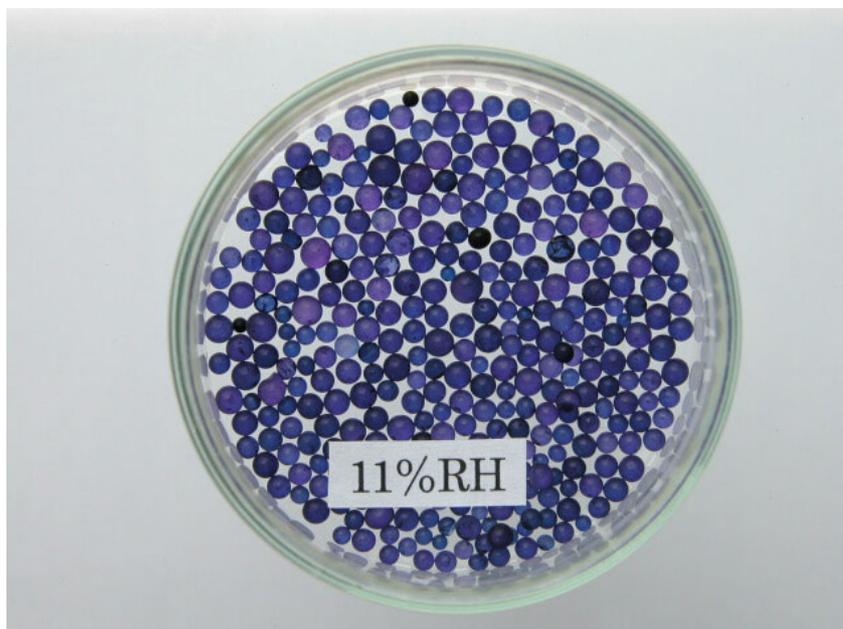
有機系新インジケータの呈色について

文書番号 K1492SY.DOC
平成 13 年 8 月 1 日
大江化学工業株式会社
品質企画室

新湿度インジケータは、従来の塩化コバルト型によく似た呈色を示します。しかし、塩化コバルト感湿剤が、青から薄青・水色を経て桃色に変化するのに対して、下の写真に示すように、青色の状態から濃暗青紫色(11%RH)・紫色(17%RH)となり、濃暗赤紫色(23%RH)、暗赤色(33%RH)と青色から急激に赤色系統の色に変化する特徴があります。感湿剤の物質が異なるため、従来の色変化とは異なりますので、何卒、変色点の認識には御留意のほどお願い申し上げます。



乾燥剤が吸湿していない状態では、青色を呈している。



11%RH では濃青紫色の粒があらわれだす。

有機系新インジケータの呈色について

17%RH では全体的に紫色の色調がみられる。



23%RH では、多少濃紫色の粒が残っているが、全体的には濃暗赤紫色を呈する。



33%RH では、赤紫色が消え、暗赤色を呈する。